

桶川市の SDGs の取組



1. 桶川市の概要

埼玉県桶川市は、昭和45年11月3日「桶川町」から県下31番目の市として誕生し、都心から比較的近く通勤、通学の利便性もよいことから、今日まで住宅都市として発展してきました。古くは、中山道6番目の宿場町として多くの人で賑わい、江戸時代後期には、染料の原料となる「べに花」の一大産地として知られていました。令和2年11月3日に市制施行50周年を迎えました。

図1：位置図



※ 都心から40km

図2：市域概要



〈人口〉 75,202人 (R3.1.1)
 〈世帯数〉 33,144世帯 (R3.1.1)
 〈面積〉 25.35km²

2. SDGs の取組

(1) 市制施行50周年を契機としたSDGs

	<p>■ バイオマス（廃棄される卵の殻）を原材料としたメッセージ性のあるノベルティグッズなどを製作し、市制施行50周年事業とあわせSDGsを啓発。協働で市内小中学生と一緒にデザインした市制施行50周年記念ロゴをグッズに刻印。グッズは、市内の児童生徒及び各種イベントにて配布。</p>  <p>桶川市マスコットキャラクター「オケちゃん」 (市制施行50周年記念ロゴ)</p>
	<p>【ノベルティグッズ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 桶川の歴史とSDGsを漫画で紹介した冊子・ ペットボトル・プルタブ オープナー兼防犯笛・ エコバッグ・ クリアファイル（書類ケース）
	 <p>冊子 オープナー</p> <p>エコバッグ 50 ファイル</p>
	<ul style="list-style-type: none">・ この他、職員の名刺にも卵の殻を再利用した台紙を使用しています。

(2) 今後の取組について

市制施行50周年を契機に、世界の持続可能な開発目標であるSDGsを一層支援し、未来の100周年に向け、ポスト・コロナ時代を見据えた持続可能なまちづくりを推進していきます。